

たの

議会だより

令和6年12月
議会定例会

No.201
2025.1.31

高知県 田野町



伝統が息づく、田野小学生たちの力強い田野ソーラン
第50回 田野町 産業まつり (関連記事P2~3)



《特集》第50回田野町産業まつり	2
ふるさと応援基金他補正予算	4
町政のここを問う！（5議員が一般質問）	6
第8回議会報告会・意見交換会	14
議会のうごき	16

《特集》第50回 田野町 産業まつり



社協のかごあみ教室



田野町女性団体連絡協議会



田野町食生活改善推進協議会



内町なかよし会



中芸発動機愛好会

「産業まつり」が開催されました。

11月23日(土)に、秋の大イベントである「第50回田野町産業まつり」が開催され、町内外からたくさんの方が訪れました。

今年は、50回目の大きな節目を迎える開催となり、地元でとれた新鮮な農産物の販売、大鍋での炊き出し、餅投げ、昔懐かしのレトロな発動機の展示、ステージショーなど、多彩な催しで、子どもから高齢者まで、大いに盛り上がりました。

大鍋(しゃも鍋)のふるまい



14年~15年前に、役場から依頼を受け、始めました。かみどたえもあるように野菜もたっぷり入れています。

おいしかったと言われることが、うれしいです。
(田野町食生活改善推進協議会)

産業まつり実行委員会

会長 宮崎 正臣 さん



第50回記念、ありがとうございます。
コロナ禍もありましたが、昨年からの復活して開催することができてよかったです。多数の出店者、観客を集客できてよかったです。
今後も開催できるよう期待しています。

出店者の声

出店動機ややりがい・
楽しみ、田野町に期待
すること などなど



団体名 『 あまじ家 』 出店回数6回

年に1回、普段、仲の良い仲間が集まり、楽しんでます。自分たちが「おいしい」と思ったものを作っています。

出店動機は、小中学校のPTAが始まりで、それがなくなったので、何かを始めようと。

議会だよりは、読んだり、読まなかったり。

期待することは、若い人の意見を取り入れて！



団体名 『 農業委員会 』 出店回数50回

田野町で作った新鮮な野菜と、田野町産の農産物のPRするため。

農地のことで心配ごとがあれば、気軽にご相談ください。

田野町に期待するのは、人口増。

町民の皆さん、交通ルールは守りましょう！



団体名 『 大野倶楽部 』 出店回数10回以上

若い世代の減少、高齢化になり、地域を何とか元気にしたい目的で活動しています。

15年以上前から各種ツアーの受け入れ、餅つき、盆踊り、雛祭り等、町内外のイベントに年10回～15回程度参加しています。

「面白く」「あほう(バカ)」なことを言い合いながら、活動を続けていきたいです。

田野町に期待することは、もっとイベントを開催してください。

一般会計補正予算(第4号)衆議院議員選挙費で 450万円を追加

一般会計補正予算(第5号)ふるさと応援寄付金などで 2億3980万円を追加

一般会計補正予算(第4号)の主な内容

歳入	(内容)
県支出金	450万円 (衆議院議員選挙費交付金)
歳出	(内容)
衆議院議員選挙費	450万円 (報酬・職員手当等ほか)

追加 総額 36億5380万円
450万円

・一般会計(第4号)

一般会計補正予算(第5号)の主な内容

歳入	(内容)
地方交付税	851万円 (普通交付税)
寄附金	1億5000万円 (まちづくり応援寄附金)
基金繰入金	7830万円 (ふるさと応援基金)
諸収入	250万円 (雑収入)
町債	30万円 (農林水産債)
歳出	(内容)
一般総務管理費	109万円 (災害補償費ほか)
財産管理費	1億4930万円 (ふるさと応援基金積立金ほか)
地域振興費	451万円 (東部交通補助金ほか)
ふるさと納税推進費	7500万円 (贈呈品ほか)
児童措置費	225万円 (乳幼児医療費ほか)
道路新設改良費	400万円 (残土処理場候補地検討委託業務ほか)

追加 総額 38億9360万円
2億3980万円

・一般会計(第5号)



・簡易水道事業会計(第1号)
収益的収入及び支出
収入予定額 49万円追加
支出予定額 266万円追加
資本的収入及び支出
収入予定額 10万円追加

・特別会計
国保会計(第3号)
追加 総額 4億5396万円
6195万円

質問 答 弁

〔主な質疑を掲載します〕



・公共住宅の条例改正

問 共益費を月額3千円とする根拠、また余剰分はどうなるのか。

答 浄化槽の保守点検、共同水栓に係る水道料金の実績割、通路照明等に係る電気料金で、余剰分は住宅の修繕等、管理運営費に充当する。



・(第5号) 補正予算

問 残土処理場候補地検討委託業務400万円とあるが、候補地は町内か、それとも町外か。

答 候補地は町内での選定を考えている。

問 土地分筆委託料110万円とあるが、今後の製塩事業に関するレンタルハウスの用地確保と考えてよいか。また1棟当たりの建設金額は。卒業後は販路先の開拓などの販売支援は、行政としてどのように考えているか。

答 今後において、製塩レンタルハウスの建設までを考えた予算措置である。
1棟当たりの建設額は、約1千万円を見込んでいる。
販路先の確保等、販売へつなげる支援も行っていく。

条例改正により、非常勤の行政委員の報酬が、改正されました。

区分	年・月・日額の別	金額(円)	
		改定後	改定前
校医(医師)	年額	106,700	95,000
校医(歯科医師)	〃	99,300	88,000
校医(薬剤師)	〃	38,500	34,000
教育委員	月額	23,500	20,000
監査委員	日額	8,600	7,600
監査職務執行者	〃	8,600	7,600
農業委員長	〃	7,600	6,600
農業委員	〃	6,900	6,000
選挙管理委員長	〃	7,600	6,600
選挙管理委員	〃	6,900	6,000
報酬等審議委員長	〃	8,000	6,600
報酬等審議委員	〃	7,200	6,300
退職手当審査委員長	〃	8,000	6,600
退職手当審査委員	〃	7,200	6,300

※2時間以内の会議の日額支給金額は日額の7割とする。〈施行日 令和7年4月1日〉



定例会で決まったこと

議案の審議結果一覧表

議案 番号	件名	議決 結果	賛 成	反 対	採決状況 (○賛成 ×反対 *欠席)									
					中 野 益 夫	山 崎 豊 子	村 田 秀 作	神 山 大 亮	山 本 美 園	西 岡 恒 雄	桑 名 良 学	中 澤 長 顯	安 岡 数 徳	小 笹 孝 彰
議案 第1号	令和6年度田野町一般会計補正予算(第4号)の専決承認について	承認	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第2号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第3号	地方自治法第203条の2の規定による職員の報酬及び費用弁償の額並びにその他支給方法に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第4号	田野町公共住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第5号	中芸広域連合の共同処理する事務の変更及び規約の変更について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第6号	令和6年度田野町一般会計補正予算(第5号)について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第7号	令和6年度田野町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第8号	令和6年度田野町簡易水道事業会計補正予算(第1号)について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長(採決に加わらない)



常石博高 町長

道の駅「田野駅屋」再整備

令和6年11月24日に掲載されました高知新聞の記事によりますと「県内の道の駅人気アンケート」において、道の駅「田野駅屋」が第7位となり、東部地域では上位にランクインいたしました。

その要因としましては、食事を含めた魅力ある商品提供に対する意見が多く、出品者の皆様に対する高い評価をいただいた結果と捉えており、大変うれしく感じております。

引き続き魅力ある商品提供にかかるとの体制や売り場づくり、特産品開発等に向け取り組んでまいります。

一方で、施設の老朽化や直販施設を含む駅舎全体の空間が狭小などの課題も多く、道



施設の老朽化など課題の多い「田野駅屋」

の駅リニューアルが必要であり、方向性等を示した「基本計画」を令和6年5月に策定しました。今後におきましては、策定いたしました「基本計画」を基に、地域の拠点としてさまざまな機能付加についての検討を進めます。

地域優良賃貸住宅 上ノ岡西団地

令和6年8月に完成しました地域優良賃貸住宅上ノ岡西団地（2戸）につきましては、子育て世帯を対象とした入居者の募集を行った結果、募集戸数2戸を上回る応募があり、抽選会を実施し、2世帯（内、子ども4人）の入居者が決定いたしました。

第50回田野町産業まつり

去る11月23日に、ふれあいセンター駐車場において田野町産業まつりが開催されました。産業まつりは、開催場所やその内容等、その時々状況により形を変えながら開催を続けており、50回の節目を迎えました。

当日は、恒例の野菜の即売のほか町内外から全37ブースの出展があり、多くの来場者で賑わいました。ステージでは烈士太鼓「燦」キッズによる太鼓演奏や田野町のダンスグループ「すまいるクラブ」の楽しいダンスが披露され、大いに盛り上がりました。



楽しいダンスで、会場は大盛り上がり



「燦」キッズの太鼓の響きで心をひとつに

第33回空谷記念 田野全国水墨画展

本年度の「空谷記念田野全国水墨画展」は第33回を迎え、11月30日に開会式典を行い、12月8日までの期間で開催いたしました。

本展には、全国から幅広い応募があり、招待作品7点、無鑑査作品4点を含む合計112点が展示されました。出品者は初出品の8名を含め1道1都2府16県にわたる地域から応募が寄せられ、地元住民をはじめ多くの来場者に日本の伝統文化である水墨画を楽しんでいただきました。この水墨画展を通じて、地域文化の発展と伝統芸術の継承に努めてまいります。



墨の世界に心癒される

ただ 5議員が質す

一般質問

ズバリ

今議会のテーマ

P9

桑名 良学 議員 ●土木事業の発注時期について問う

P10

山本 美園 議員 ●手話言語条例について

●町民の声を聞く努力は

P11

山崎 豊子 議員 ●地震、津波発災後の給水、し尿収集対策を問う

P12

中野 益夫 議員 ●「事前復興まちづくり計画」の策定に向けて

P13

神山 大亮 議員 ●道の駅田野駅屋再整備の進捗状況は

町政のここを問う！

解説

一般質問…議員が田野町の行政全般にわたり町長などに対し事務の状況や将来の方針などの説明を求め、所信や疑問を質すこと。

土木事業の発注時期について問う

課長 — 年間計画を立て進捗管理を行っている



桑名議員

地方自治法第208条1項は「普通地方公共団体の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。」(単年度主義)。

また、2項では「各会計年度における歳出は、その年度の歳入をもって、これに充てなければならぬ。」(会計年度独立の原則)と定められている。

近年、繰越明許費繰越計算書を確認すると2年間に渡る事業がある。繰越しになる要因の1つとして、入札時期の遅れはないか。

例として、町道高田下ノ丸線道路改良工事、町道中央線道路改良事業など。

西山産業建設課長

土木事業に限らず公共事業全般が、施工条件等により実施期間の制約がある場合を除いて、予算措置後、できるだけ早期に発注することが基本と認識している。また、工期については標準工期での工期設定を基本とした発注に努めている。

しかし、例にあげられた事業など、計画・設計の見直し、土地の取得などやむを得ない、自然的・社会的な外部要因により、予算化した経費の支出が年度内に完了しない場合、地方自治法213条1項に基づき翌年度に繰り越しの事業実施とする場合がある。



桑名議員

事業の進捗管理はどのように行っているか。

西山産業建設課長

所管する事業全般について、年間計画を立て進捗管理を行っている。

桑名議員

標準工期の設定において、準備期間、施工期間の実日数、不稼働日数、片づけの期間等があるが、近年の不稼働日数は、増えてきていないか。

西山産業建設課長

感覚的な話になるが、雨等で、長期間、現場が動かないことが、往々にしてある。

天候に関して、新たに県から示されている標準工期に準備期間、不稼働日数を含んだ日数設定となっており、猛暑日等の補正も行う基準となっている。

桑名議員

事業発注の期日は設けられてないか。

西山産業建設課長

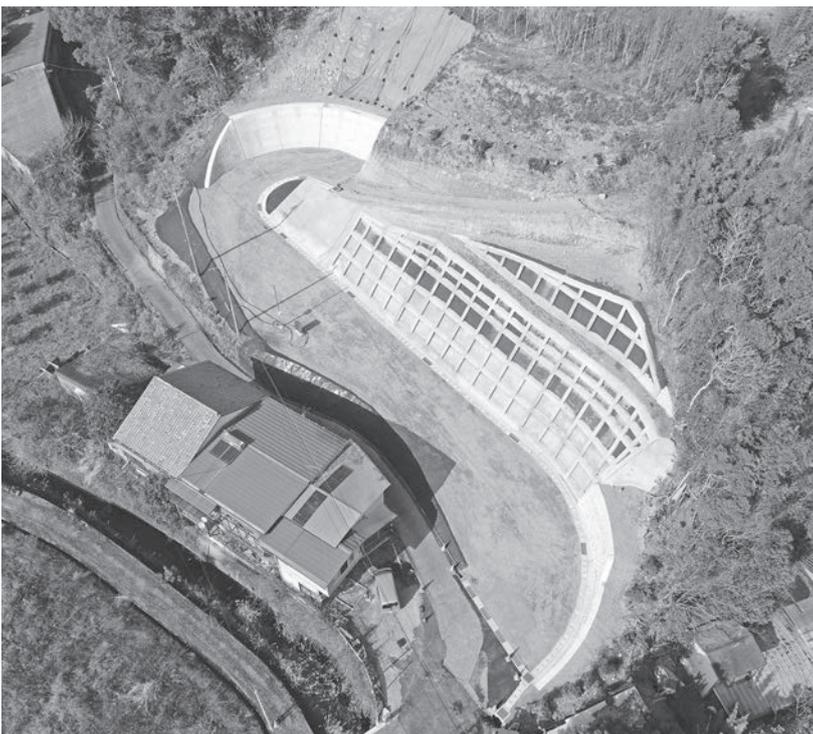
発注に期日の定めはない。年間計画は、工事も複数件あり、施工時間の制約を受ける工事もある。その年度に執行すべき事業を、年間の中に割り振って、発注するよう、計画を立て、管理を行っている。

桑名議員

遅れがないか、入札の準備が整っているか、進捗確認をしているか。

西山産業建設課長

標準工期があるので、それを踏まえた設定が必要である。職員も複数業務を兼務しており、遅れが生じれば、工期にしわ寄せがくるため、基本的に、その時々々の進捗状況に応じて、確認を行っている。



新設(バイパス)工事を実施中の高田下ノ丸線

手話言語条例について

次長——手話サークルの活動を支援する



山本議員

県外の町広報に手話の写真入りの記事があるが、中芸手話サークル「ぬくもり」の特集を広報で掲載できないか。

西山教育次長

手話サークルが自ら活動内容や参加者の声を寄稿する形を基本として、町は広報への記事掲載の調整や編集支援を行い、サークルの自主性を尊重しながら支援をする。

西山教育次長

小中学校の通常授業では、年間の規定された教科ごとの授業時数もあり、学校教育において授業に組み込む余地がないのが現状である。



「ぬくもり」の手話で心をつなぐ歌

山本議員
町の行事などで手話通訳士の派遣を予算化できないか。

村上副町長

理解や普及のための取り組み方のひとつだが、行事により個々に判断する必要がある。

一括で答えられないが、条例理念の実現に向けた施策の実施は、町として取り組む必要がある。

今後とも広域での講座開催への支援など、継続して町条例の目的とする、共生の地域社会の実現に努力していく。

町民の声を聞く努力は

町長——準備が整えば懇話会は実施できる

山本議員

令和6年3月議会会で、町長公約「町内行脚」を質問し、町長は1回だけと答え、6年からは方法等を再検討すると答えた。次の点を問う。

その後、町内行脚をした場所・日時・成果を問う。

常石町長

できていない。今一度、しっかりとした対応を行っていく。

山本議員

町道中央線、道の駅等、町民の意見・助言を聞く耳を持っているか。

常石町長

課題がある程度できたら、住民との対話が必要と思っっている。決して、やらないということではない。

町長との懇談希望がある団体やサークルがあれば、懇話会を開く仕組みも考えている。

山本議員

町長への手紙、月2回のフリートーク町民室の成果は。

常石町長

町長への手紙は、令和5年4件、令和6年4件、氏名を記入の方には、役場から回答を送り、無記名の方のは、内容を回覧し、庁議を通して共有している。

フリートークは、延べ21名から相談があり、必要な方には回答をお返しした。



町長への手紙

地震、津波発災後の給水、し尿収集対策を問う

課長——し尿収集は県と連携



山崎議員

災害時、個々には3日分の飲料水の持ち出しを推奨しているが、常に持ち出せるとはいえない。常備飲料水にも限りがある。防災センターの貯水タンクの水は、どのようにして避難所、各地区の町民に給水されるのかを問う。

西山産業建設課長

水道水を一定量貯留できる施設は、築地配水池と防災センターの2か所、また1³mの貯水タンクを1基備え、車両での運搬での給水が可能で、現在進めている北張配水池の改修、更新が完了すれば、4拠点での給水が可能となる。

山崎議員

中芸広域には給水車も見受けられないので、全世帯あるいは人数に応じて水を配るとなると、かなり大きなタンクやそれを運ぶ車両の備えも必要だと思うが。

西山産業建設課長

応急給水は、拠点に水を取りに来ていただき、町で備蓄している給水袋(6ℓ)を使用して給水する拠点給水を計画している。
1³mの貯水タンクを追加備蓄することで、車両で運搬し、拠点を複数確保することが可能となる。



山崎議員

水道の復旧計画はどうか。

西山産業建設課長

給水事業者として、まずやるべきことは水道施設の復旧である。事業継続計画を策定しているが、本年の能登半島地震では、水道の復旧が遅れたという事例もあり、計画どおりにいくかは不透明である。現在の計画では、25日程度で復旧する計画である。

山崎議員

3月議会でもトイレ関係の質問をしたが、今回は、仮にトイレ環境が整備されたとして、し尿の回収、その後の処理はどうなるのか。し尿処理センター自体被災し、稼働できない状態になるのではないか。また、し尿回収事業者との連携はどうか。

西山産業建設課長

中芸広域連合の業務継続計画に、中芸広域連合衛生センターは、50cmの津波浸水区域にあり、早期復旧を図るとある。

連携の話し合いについて、し尿処理事業者は、それぞれ所属する高知県環境保全協会

および、高知県環境整備事業協同組合の両組織と県との間で、し尿の収集運搬の協力に関する協定が締結されており、県を通じて広域的な支援、要請をすることになっている。

山崎議員

し尿回収後の処理はどうなのか。

西山産業建設課長

処理施設間の相互連携は、県内6つに分けたブロックごとの検討がされており、県西部では協定を締結しているところがある。

中芸地域を含む安芸広域ブロックにおいても今後検討がされると認識している。

山崎議員

協定ということではなく、地元事業者との話し合いなどはどうか。

西山産業建設課長

県との協定があるので、改めての公式な話し合いは難しいが、実際災害が起こった場合はどうなるのかというような、話し合いはできると思う。

「事前復興まちづくり計画」の策定に向けて

課長 — 庁内で協議を進めていく



中野議員

県では、「高知県事前復興まちづくり計画策定指針」を策定しているが、この指針に基づき「田野町事前復興まちづくり計画」の策定に向けて、以下を問う。

発災後の食料難に備える当町としての基本方針を伺う。

西山産業建設課長

発災後の食料は、個人備蓄、公的備蓄、その他支援物資により確保するよう計画に位置づけており、直接備蓄は本町の面積、人口、生産基盤から考えると独自対策は難しい。

中野議員

不測の事態に備えた、町独自の備蓄米確保の計画の考えはどうか。

西山産業建設課長

町独自の備蓄米等の確保は、本町の規模状況に鑑み、現実的ではないと考える。

中野議員

被災者の避難先としての、台地農業の生産を高める基盤整備の方向性はどうか。

西山産業建設課長

基盤整備は実現可能なものから進めていく必要があるが、現段階で事前復興まちづくりの視点を踏まえた方向性は持っていない。

中野議員

食料備蓄と高台農地保全等についての、地域計画との整合はあるか。

西山産業建設課長

農地利用に関する地域計画は、作成を進めているが、事前復興まちづくりの視点を加味したものとはなっていない。

中野議員

公的な部分で、もみ・玄米の常温・低温での備蓄、貯蔵の「田野町版食管制度」的な仕組みづくりを問う。

西山産業建設課長

備蓄米を独自で行うのは、困難な部分があり、現実的ではないと考える。だからこそ、政府備蓄米と認識している。

中野議員

気候変動、地震等の天災、人手不足、地域紛争等の人災など、有事の際には既存の施策を超えた支援策も、必要となるのではないか。

西山産業建設課長

米に関しては、人手不足もあり、組織化で生産基盤全体の底上げが必要であると考えており、その部分で取り組みを進める。

中野議員

台地農業の基盤整備の方向性について、再度問う。

西山産業建設課長

事前復興まちづくり計画の策定では、生活を再建する、なりわいを再生する、歴史・文化を継承するといったさまざまな視点から復興について考えなければならぬ。復興まちづくりにおいては、高台の地域において、被災前と同様の生活、営農を続けていけるのかも含め検討を進める必要があるが、今の時点で基盤整備に限って方向性を示すことはできない。

山中総務課長

事前復興まちづくり計画は、来年度からどういう形で進めていくか、具体的に検討していきたいと考えている。



道の駅田野駅屋再整備の進捗状況は

課長——事業予定地の約7割を取得完了



神山議員

当町では、道の駅田野駅屋再整備が進められている。現在の進捗状況は。

今井地域振興課長

事業予定地の約7割を取得完了しており、残りの3割についても本年度中の取得をめどに進めている。また現在は「土地分筆等登記委託業務」、「造成工事設計委託業務」、「官民連携基盤整備推進調査委託業務」、「PFIアドバイザリー委託業務」の4つの委託業務から事業を進めている。今後においては広報等を活用しながら、進捗等についてもお知らせしていきたい。



混雑時は入り口の外まで並ぶ

神山議員
 現在の運営元である「たの未来プロジェクト株式会社」はどうなるのか。

村上副町長

建築設計・施工、その後の運営管理をまとめて民間事業者に発注する予定である。直販、食堂に限らず、その他の機能も含めた施設全体の運営規模拡大が予想され、現状以上の体力が求められる。現時点では現運営会社が引き継ぐことは難しいと考える。

神山議員

現在の田野駅屋の従業員はどうなるのか。中には高齢の従業員もいるが。

村上副町長

町内の地域内雇用の継続や拡大が重要である。今までの経験やノウハウを今後にもいかすべく、スキルや年齢も含めて、現在のところ基準等は考えていない。

神山議員

再整備の基本計画では、概算事業費を17億6千万円、令和10年度供用開始としている。現在行われている町の事業でも、事業費の増加やスケジュールの遅延等が生じていることがあるが、本当にこの計画が進められるのか。

今井地域振興課長

事業費については、基本計画策定時の概算であり、今後における予算化までの間にも時間の差があることから、物価高騰等による一定額の増加はある程度予想されるが、国費・県費等充当できるものはしっかりと要求し、ふるさと納税の活用や条件の良い起債を充てて、町の持ち出しであ



魅力的な商品が並ぶ直販コーナー

る自主財源の負担を極力抑えるよう努めていきたい。今回の田野駅屋再整備事業は、民間事業者のノウハウを活用する方向で進めており、民間事業者の提案から集客や収入を伸ばし、再整備後のラニンングコストも抑えていきたい。

また、町が抱える課題はさ

まぎまであるが、これらを改善できる施策は田野駅屋の再整備であると考えている。町の活性化や住民の生活満足度を上げるという部分では多少の投資は必要であり、素通りにならない町にするためにもしっかりと取り組んでいきたい。

《開催報告》 第8回 議会報告会・意見交換会

令和6年11月8日、ふれあいセンター多目的会議室にて、第8回議会報告会・意見交換会を開催しました。ご参加いただきました皆様にお礼を申し上げます。

今後とも、多くの皆様に参加しやすい身近な報告会となるよう、努力してまいります。

主なご質問、ご意見をご報告します

【ご意見】

住宅耐震改修事業の補助金が出ても、自己出資金が大きいので、改修を諦めている人が多いのでは？

【答弁】 安価に事業実施できるよう要望していきます。

【ご意見】

ふれあいセンターとアクセスの活用について

【答弁】 執行部と共により良い活用を考えていきます。

ほかにも、多数のご質問、ご意見をいただきました。



受付箱に届いたご意見と回答

ご意見



田野町がパートナーシップ制度を導入したほうがいいです。

回答



高知県のホームページでは、令和6年11月1日時点で34市町村中9市町村が導入しており、利用可能な行政サービスは、市町村によって違ってきます。

パートナーシップ制度導入について、住民の方からご意見があった旨を執行部に報告するとともに、議会のほうでも、今後理解を深めてまいります。

ご意見



田野町の介護事業所が、本年度で撤退する。住民は、来年度からの介護事業に不安を感じている。町長から、今後の介護事業の取り組みを、聞いてもらいたい。

回答



常石町長に、住民の方からご意見があった旨を報告しておきます。

ご意見



田野駅屋の改修工事は、住民投票によって決める方式を、議会に提案する議員はいないか、考えを聞かせてほしい。

回答



令和6年9月議会時点で、住民投票は考えていません。また提案する議員もいませんでした。

その他、学校関係のご意見を1件いただきました。

事前に届いたご意見、議会報告会でいただいたご意見をまとめ、執行部に提出いたしました。

これからも、皆様の声を大切にまいります。



議会を傍聴してみませんか

定例会では、町民に密接に関係するさまざまな事項が審議されています。今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひ、お越しください。

次回定例会は、**3月中旬** 開催予定です。

主な審議内容は
令和7年度当初予算です

詳しくは、
議会事務局まで
TEL 0887-38-6966



議会のうごき

主な活動をお知らせします。
なお、行事名は一部省略しています。

10月

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 2日 奈半利川水利対策協議会研修 | 15日 広報編集委員会 |
| 4日 奈半利室戸道路建設促進協議会
中央要望 | 16日 四国8の字整備促進連盟
四国整備局要望 |
| 7日 広報編集委員会 | 25日 トップセミナー |
| 9日 海部郡・安芸郡議長連合会要望 | 30日 安芸広域特老議会 |
| 12日 東海岸グルメまつり&鉄道の日 | 31日 四国地区町村議会議長会研修 |

11月

- | | |
|--|----------------------|
| 1日 高知県戦没者追悼式 | 13日 町村議会議長全国大会 |
| 8日 全員協議会
議会運営委員会 | 14日 安芸郡議会議長会研修 |
| 8日 第8回議会報告会・意見交換会 | 15日 市町村議会議員行政実務研修 |
| 12日 海部郡・安芸郡議長連合会中央要望
県選出国会議員との意見交換会 | 25日 議会運営委員会
全員協議会 |
| | 28日 四国8の字整備促進連盟中央要望 |
| | 30日 空谷記念田野全国水墨画展表彰式 |

12月

- | | |
|------------------------|----------------|
| 2日 全員協議会
合同常任委員会 | 20日 中芸広域連合議会 |
| 10~12日 第6回議会定例会 | 23日 安芸郡議長会臨時総会 |
| 12日 広報編集委員会
議会運営委員会 | 24日 安芸広域特老議会 |
| | 26日 安芸広域議会 |